

## 株式会社 加地が本社工場を整備

# 県庁で立地計画認定書交付及び覚書調印式

医療・福祉用品などを製造する株式会社加地では、新しく本社工場を整備することになり三月二十四日、県庁において立地計画認定書の交付、覚書の調印式が行われました。

今回の整備では、町が工場を取得、整備を行った約一・五畝

の敷地にある旧松江松下仁多工場の跡地を借り受け、本社工場の機能を移します。

また生産、研究部門の強化も図り、同社が独自に開発した高機能素材・エクスジェルの増産を行います。

エクスジェルは、人の皮膚感覚に近く柔軟性の高い特殊



▶ 地域経済の発展を願う三者で握手

合成ゴムで、シートベルトやクッション等に使われており、様々な業界から高い評価を受けています。

今回の投資額は約一億円、操業後三年間で二十一人を新規雇用する予定で、県、町からは条例に基づき様々な支援が行われます。

調印後小川國男代表取締役は「奥出雲から願わ



▲ 覚書に調印する小川代表取締役

くは株式市場・公開を目指しチャレンジしていきたい。また地元への期待にも応えていきたい」と力強く今後に向けた抱負を語られました。

## 農業基盤が整備

# 稲原地区県営ほ場整備事業 横田南地区農免農道竣工

稲原地区で平成七年から整備が進められてきた稲原地区県営ほ場整備事業、横田南地区農免農道整備事業が完了し、三月十二日に竣工式が行われました。

この事業では、八五・五畝の近代的なほ場、道路延長千九百四十四畝、幅員五・五畝の横田南農道、河川改修、防火水槽などが十一年の歳月と約四十億円の巨費を投じ、本町の県営事業では最後の大事業として整備されました。



▲ 竣工を記念し関係者で記念撮影

式典には、糸原県議をはじめ多くの来賓、地元関係者などが出席し、代表者による記念碑の除幕などが行われ竣工

を祝いました。今後、地域の生活環境の充実により全国に誇るブランド米「仁多米」の更なる産地化が図られます。